



新年度「学校運営協議会委員」の紹介



学校運営や必要な支援について協議し、コミュニティ・スクールの中心となって活動する学校運営協議会の委員が決まりましたので紹介します。

前列右より大石時枝委員、藤田郁夫委員（協議会会長）、原田正裕校長（本年度着任）、板倉正実教頭、鶴沢命子委員（副会長）

後列右より江川司郎ディレクター、鈴木寿夫委員、大井敏道委員、影山真里委員（P代表）、川村玉美委員（P代表）の10名です。よろしくお願いします。

コミュニティ・スクール（CS）とは？

学校と保護者や地域の皆さんが力を合わせて学校運営に取り組み、

子供を育てる「地域とともにある学校づくり」の仕組みです。



「コミュニティ・スクールの初会合で原田校長が話された大切なこと」

1 細江小学校の子供には、勉強ができることも大切だが、思いやり、やさしさ、周りの人に愛される人であってほしい。このことを学校づくりの基盤にしていきたい。

それが、前任の仲田校長が示した「スマイルハート」「よりよい自分・よりよい仲間」につながっていくのだと思う。

2 学校生活の中で一番長いのは授業。その中で相手を大切にし、相手を思いやる心を育てていきたい。「温かい生き方」「スマイルハート」な生き方を手掛かりにしたい。

3 地域と学校の関わり方について、これまでの学校は地域の方に来ていただくことが多かったが、これからは子供たちが地域に出ていく、地域のために役立つことができたらいいなと思っている。

新1年生の下校見守り ボランティアの皆さんありがとう！

危険な箇所があったらお知らせください！

新1年生が、4月9日から25日までの11日間、7コースに分かれ、学校職員、ボランティアの皆さんに見守られて下校しました。下校途中の危険な箇所や横断歩道の渡り方など指導してもらい、安全に帰宅できるようにしました。保護者の皆さんも心配して家の近くまで出迎えてくれていました。

悲惨な事故のニュースを見るたび、小学生の皆さんがこの1年間事故のないようにと祈るばかりです。登下校はもちろん、帰宅してからの事故も多くあります。地域の皆さんもそれぞれの地区で子供たちが、事故にあわないよう見守ってください。

16名のボランティアの皆さん、お忙し中、新1年生の下校を見守って頂きありがとうございました。



机、椅子の高さを調整してくれました



ボランティアの皆さんが低学年の机、椅子の高さを児童の体に合わせて調整してくれました。毎年行われている活動なのでスムーズに仕事を進めことができ、短時間で終わることができました。

保護者懇談会時の託児 図書館で宿題や読書 早く来ないかなあ！

4月25日には保護者参観会、懇談会が行われました。保護者の皆さんが担任の先生方と懇談している間、60名程度の子供たちが図書館で懇談が終わるまで友達と宿題や読書などして過ごしました。先生方やボランティアの皆さんもそんな子供たちに声をかけたり、宿題を教えたりして見守ってくれました。

保護者の皆さんが迎えに来ると、低学年の子供たちは顔をほころばせ、嬉しそうに帰っていききました。学年によりそのしぐさに違いがあり成長の差を感じました。

